

資料館だより



「土人形」
井上鋭夫発掘資料(金沢城址)

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／参加報告
- 3… 雑感／平成29年4月～8月移管・寄贈資料
- 4… 開催案内／土日開館等／資料修復

TOPICS

資料館所蔵の加賀藩校扁額2面が金沢市有形文化財に指定

資料館が所蔵する旧加賀藩の藩校であった「明倫堂」及び「経武館」の扁額が、平成29年6月29日付けで金沢市から有形文化財の指定を受けました。

加賀藩の藩校は、1792(寛政4)年に、11代藩主前田治脩によって創設されました。

「明倫堂」と「経武館」は、対を成しており、「明倫堂」は、朱子学を中心に、和学、漢学、漢医学、算術、歴史、天文等を学ぶ文学校、「経武館」は、馬術、槍術、剣術、柔術、組打等を学ぶ武学校でした。

「明倫堂」の扁額は初代学頭である新井白蛾によって、また、「経武館」の扁額は加賀藩の重臣である前田土佐守直方によって揮毫されています。両扁額とも額面はケヤキの一枚板で作られ、文字の輪郭を片切彫にして文字面を浮き彫りにし、金箔がはられていました。これらは、現存する全国の藩校扁額の中では最大級のものであります。

明治になり、両校は幾多の変遷を経て廃止されましたが、その後、両扁額は石川師範学校講堂に掲げられ、金沢大学に引き継がれたものです。



「明倫堂」扁額(左)と「経武館」扁額(右)

学長及び資料館長が金沢市の文化財指定書交付式に出席



指定書を掲げた山崎学長(中央)と奥野資料館長(向かって左)、山野金沢市長

「明倫堂」及び「経武館」の両扁額の金沢市有形文化財の指定書交付式が、7月31日(月)に金沢市役所でありました。本学から、山崎光悦学長及び奥野正幸資料館長が出席し、山野之義金沢市長から指定書の交付を受けました。

山野市長から扁額の来歴等について質問があり、山崎学長が藩校の廃止後、石川県師範学校及び金沢大学教育学部を経て、資料館に移管されたものであり、引き続き大切に保存し、展示していくことを説明しました。

展示活動報告

企画展

「金大資料館コレクション展2017：教材の博物館」開催

会期 平成29年4月5日～平成29年7月5日 会場 資料館展示室



資料館では、毎年春に資料館が所蔵する資料の中からテーマを設けて紹介する企画展を開催しています。本年度も「金大資料館コレクション展2017：教材の博物館」と題して、前身校で使われた教材を展示しました。

今回は、石川県師範学校にあった郷土館の歴代九谷焼の作風標本、旧制金沢医科大学の石版画による人体局所解剖図をはじめ、これまでの展示で好評だった第四高等学校のロウでできたキノコムラージュ標本、当時の学説に基づくマンモス等の氷河期以前の動物模型、立体映像の原理を理解するためのステレオスコープ等を展示し、多くの方にご覧いただきました。

企画展

「金沢大学研究の顔2017 新学術創成研究機構展」開催

会期 平成29年7月11日～平成29年8月25日 会場 資料館展示室

昨年度に引き続き、金沢大学の研究力を紹介する企画展「金沢大学研究の顔2017 新学術創成研究機構展」を新学術創成研究機構との共催により開催しました。

新学術創成研究機構を紹介する展示は、2年目となりますが、同機構の研究ユニット数が、12から16に拡大されており、新たに加わったユニットと研究の進展を紹介するものとして企画しました。

また、展示についても昨年度のパネル中心の展示から実際に使われている実験機器や研究の成果物を展示し、より理解しやすい充実した内容になりました。



参加報告

大学博物館等協議会・日本博物科学会

今年の大学博物館等協議会・日本博物科学会は、6月22日・23日の両日、山形大学小白川キャンパスを会場に開催されました。初日は、三上喜孝氏(国立歴史民俗博物館)による講演「大学収蔵史料の調査研究と社会的活用」と、三島美佐子氏(九州大学総合研究博物館)による講演「移転で新たに見いだされた資料群の保全と活用」があり、その後パネルディスカッションが行われました。各総会をはさんで翌日は、日本博物科学会の発表及びポスターセッションがあり、全国の大学博物館等の先進的かつ意欲的な取り組みに刺激を受けました。

学生企画展から資料整理までかかわるといふこと

私は、2016年度に学生企画展に携わり、現在は資料館の資料整理を手伝っています。私がいた企画班は、展覧会でワークショップなどイベントを企画する班です。ワークショップで使う機器を選び、資料を調査し、それらの機器をもとに企画の準備・実行を行いました。



この企画展では企画する学生全員が文系で、天文学や物理学は分野外でした。むしろ、自分たちの分野外のものを知る、という考えから生まれたものです。したがって、資料調査や解説にはかなりの丁寧さを求めました。その際に非常に参考になったのは、その分野の方からの話と、これまでの調査資料です。

私が特に調査した「し景儀」「回照儀」は、いわゆる日時計ですが、見慣れない形をしています。そこで、原理からしっかり理解するようにしました。宇宙物理の先生を訪問し、模型を作り、2度の実験をしました。その映像や模型は、展示でも活用されました。

解説は、仕組みだけでなく制作背景も含みます。資料調査をされた方に話を伺い、それに関する資料も見せていただきました。その資料には、特に発明者について、とても詳しく書かれていました。他館に所蔵されている「し景儀」に関しても理解することができ、より詳細な解説ができました。

今回の企画展のなかで、調べてわかった新しい情報と今までに調査されてきた情報とを整理してわかりやすくまとめることが大切だと感じました。そのためには情報を集める姿勢が必要ですし、さらに資料が整理されている状況も不可欠です。現在行っている資料整理が展示などに活用されることがうれしく思います。

大学院人間社会環境研究科 1年 小口 歩美

平成29年 4月～8月
移管・寄贈資料

今期も貴重な資料の数々を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

移管

・弥生町宿舎内の表札「金沢大学 弥生町宿舎(B)」	1点	施設部施設企画課
・北溟寮の表札「北溟寮」	1点	学生部学生支援課
・マイクロメーター等機器一式	17点	理工研究域技術部
・太子像	1点	人間社会系事務部

寄贈

・金沢大学附属小学校の帽子(夏服用、冬服用)	2点	笠原 健司氏
・第四高等学校第14代校長 伊藤 武雄氏関係資料一式	429点	伊藤 千穂氏
・金沢医科大学第2代学長 須藤 憲三氏関係資料一式	11点	須藤 宏氏
・金沢高等工業学校卒業アルバム1938(昭和13)年2月作成	1点	太田 規男氏
・太田 録平氏 金沢高等工業学校卒業證書等 資料一式	9点	太田 規男氏



北溟寮の表札



附属小学校の帽子

開催案内

特別展

「加賀藩校扁額 ～明倫堂・経武館～」

会期 平成29年9月1日～平成29年10月27日 会場 資料館展示室

当館所蔵の加賀藩校扁額2面が金沢市の有形文化財に指定されたことを記念し、また、9月30日(土)及び10月1日(日)に、金沢市で開催される「第15回全国藩校サミット金沢大会」に連携して今回の特別展を企画しました。

本展示では、文化財に指定された「明倫堂」及び「経武館」の扁額をはじめ、扁額を揮毫した新井白蛾と前田土佐守直方に焦点を当てるほか、加賀前田家の支藩であった「富山藩」、「大聖寺藩」及び群馬県の「七日市藩」の藩校並びに「明倫堂」と同名の全国の藩校を紹介しています。



特別
講演会

「新井白蛾とその時代」(仮)

講師 東京大学 教授 小島 毅

日時 平成29年10月23日(月) 14:45～15:45 会場 中央図書館AV室

特別展と連動し、東京大学大学院人文社会系研究科教授の小島毅先生をお迎えして、「明倫堂」の扁額を揮毫した初代学頭新井白蛾について、お話しいたきます。先生のご専門は、中国思想史ですが、特に儒教について造詣が深く、新井白蛾の朱子学についてお話しいただけるものと思います。ぜひご参加ください。

土・日曜日開館及び平日の夜間開館を試行

資料館では、中央図書館の協力を得て、特別展の開催期間中、次のとおり開館日の拡大及び開館時間の延長について、試行を行っています。

多くの方のご来館をお待ちしています。

〈特別展開催期間中の開館日・開館時間〉

平日 9:30～16:30(9/1～9/26, 10/27)
9:30～21:30(9/27～10/6, 10/10～10/26)
土・日 9:30～16:30(9/30～10/7, 10/14～10/22)
休館日 祝日, 9/2～9/24の土日, 10/8(日)

編集後記

本号でご紹介したとおり、資料館に所蔵する加賀藩校の「明倫堂」及び「経武館」の扁額が金沢市の有形文化財の指定を受けました。

資料館にとっては、第1号の文化財指定となります。これもひとえに先人たちがその価値を認め、保存してきた結果であり、資料館の役割の重要性を再確認する機会となりました。(土田 浩)

「成医学校蔵版 人体局所解剖図」を修復

資料館では、昨年度に修復・補修のための経費の配分を受けて、かつて旧制金沢医科大学が所蔵し、現在は資料館が所蔵する「成医学校蔵版人体局所解剖図」30点を一般社団法人石川県文化財保存修復協会に委託して修復しました。

修復した資料の一部は、「金大資料館コレクション展2017：教材の博物館」において公開しました。

なお、「成医学校」とは、現在の東京慈恵会医科大学の前身校のことです。

金沢大学資料館だより
第54号 平成29年9月14日発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>